

平成24年度 事業報告

特別養護老人ホーム 和光苑

平成24年度事業報告(平成24年度「具体的なケアの実践」に基づく報告)

1. 個別的で利用者本位のケアの実践

本人を心理、身体、環境等の面から全人格的に理解する為の第一歩としてアセスメントの質の充実を図りました。

施設内研修において全職員を対象に「アセスメント研修」を4回実施、特に利用者が抱える課題をいかに導き出していくかを中心に研修を行いました。

また、問題点ばかり着目するのではなく「その人の持つ強さ」に着目し、その面を維持・強化する視点の育成に努めました。

より多くの生活課題を抱えている利用者について事例検討会(ケアカンファ)を開き、様々な面から要因を探り解決の方向性を見出しケアの統一を図っています。しかし、24年度は16名の利用者様しか討議できていません。各部署により開催回数にバラツキが見られました。

2. 安全で健康的な生活の維持

○事故防止対策委員会より

目標としてヒヤリハット報告書の記録を増やし、予防的対応を行うことで事故を減らす事を挙げていました。しかし、部署により記入実績の差が見られました。

事故内容も転倒・転落事故が全事故件数の8割～9割にのぼっています。

その都度の対応策も見守り中心で防止効果に乏しい内容が多く見られるのが実情です。

(施設内研修年2回実施及び専門委員会会議3回／年実施)

○感染症対策委員会より

目標の一つである「感染拡大防止」は感染症の罹患者を出さず防止に努めることができました。特養として消毒、職員の体調管理、面会制限等を行う等の対応を法人の感染症対策委員会と連携を取り実施しました。

(施設内研修1回／年及び会議4回／年実施)

○褥瘡対策委員会より

評価用紙としてブレイデンスケールを使用、中度のリスク利用者については療養ケアプランを看護職員が作成し、予防・悪化防止に努めた。

ただ、問題として、ブレイデンスケールによる評価が難しい。座位姿勢保持の時間が長くなり、「ブレ」等による褥瘡の危険性が高い等が挙げられた。

一方、良かった点として、各部署間での情報交換ができ、処置の方法・薬剤の使用法等を学ぶことができた。

(施設内研修 1 回／年及び会議 4 回／年実施)

3. 利用者様の利益を守る（人権擁護について）

○苦情対策委員会より

24 年度、苦情発生件数は 6 件あり、内容は爪が伸びている、目やにがある、居宅のゴミ箱にいつまでもゴミが溜まっている等です。普段の気遣いによる対応で解決できる内容と言えます。その都度苦情委員会を開催し、対応策の検討、全職員への周知徹底を図っていますが、同じ内容の苦情が発生しました。

高齢者虐待・身体拘束廃止の問題は 24 年度も表面化していませんが、年長者に対する言葉遣い、ぞんざいな態度等の「不適切ケア」が一部職員の中で見られます。

(苦情対策会議 4 回／年及び施設内研修「高齢者虐待・身体拘束廃止」1 回／年)

4. 看取りケアの実践について

24 年度施設で看取った利用者は 12 名です。やはり、延命治療は望まれず、施設での看取りを希望される家族がほとんどです。主治医・家族・施設との連携を図り、家族・本人が望まれ納得のできるケアを実施し、ほとんどの家族から感謝の言葉をいただいています。

看取りケア加算の算定を行い、24 年度は 4 名の算定を行いました。計画の算定人数は到達できませんでした。

看取りの開始時期の決定が難しく、検討している間に亡くなられた事があります。

(施設内研修 1 回／年及び会議 3 回／年)

5. 認知症ケアについて

○認知症ケア委員会より

委員会会議の開催ができず活動が不十分で、24 年度目標であった具体的な活動(アンケートの実施等)ができずに終わってしまいました。ただ、その中で「認知症による心理・行動症状 (BPSD)」の事例研究発表ができた事は良かったと思います。

全体的に認知症ケアは何か問題点等が発現し、その問題点を防止する為の対処療法的な内容に終始しているのが現状です。生活の質の向上の視点からの検討が不十分な面もあります。

学習療法の実践では、目標シートを作成し、本人の楽しみ、望み(買物、野菜作り、料理等)を通して意欲の助長につながる学習効果を高めてきました。

(施設研修2回／年)

6. 高齢者の心身機能に関する知識の習得

それぞれの専門委員会の役割の一つとして、研修活動があります。毎月一回、課題別による担当委員会の主催による研修を行い、専門的知識の習得や視点の確立、気づきを得る等を目的に取り組んできました。

24年度の特徴として、職員の事例発表形式による「施設ケア研究発表会」を年2回、「自立排泄をめざして」「認知症による心理・行動症状への対応」を内容とする研修を実施しました。ただ単に参加して話を聞いて終わりという形式から1人ひとりが主体的に考え、みんなで見聞交換し合いながら互いに高め合っていく演習形式を中心に転換し、共有化に努めてきました。

H 2 4 年度事業実績について（介護報酬関係）

		H 2 4 年度事業計画	実績
●基本介護サービス費（単位 点）			
多床室	要介護 1	234,360	229,950
	要介護 2	780,084	765,405
	要介護 3	2,005,080	1,102,640
	要介護 4	5,134,680	4,827,606
	要介護 5	5,039,292	6,204,787
		13,193,496	13,130,388
個室	要介護 1	214,644	0
	要介護 2	0	216,098
	要介護 3	267,468	284,724
	要介護 4	804,780	311,655
	要介護 5	1,503,216	1,226,082
		2,790,108	2,038,559
ユニットケア	要介護 1	245,148	240,535
	要介護 2	0	242,757
	要介護 3	2,617,728	2,503,844
	要介護 4	3,892,608	3,990,272
	要介護 5	1,750,260	2,135,129
		8,505,744	9,112,537
計		24,489,348	24,281,484
●加算分			
看護体制	I	未算定	66,420 H24. (9月より算定)
	II	233,952	229,648
			296,068
夜勤配置	I	424,248	396,902
	II	268,920	287,955
		693,168	684,857
口腔維持体制		29,880	28,740
口腔維持		59,400	38,940
		89,280	67,680
日常生活支援加算		672,612	660,238
看取り介護		43,200	14,600

24年度年間計画（単位）

	基	看	夜	栄	生活
計画	24,489,348	233,952	693,168	409,416	672,612
実績	24,281,484	296,068	684,857	401,618	660,238

（療養食加算除く）

	口腔体制	口腔管理	看取り
計画	29,880	59,400	43,200
実績	28,740	38,940	14,600

平成24年度

	基	加算	
計画	24,489,348	2,141,628	→ 26,630,976
実績	24,281,484	2,125,061	→ 26,406,545

平成24年度 実人数及び延日数

実人数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成24年4月	2	4	14	34	27	81
平成24年5月	2	4	14	32	28	80
平成24年6月	2	4	14	32	29	81
平成24年7月	2	4	16	30	28	80
平成24年8月	2	5	15	30	28	80
平成24年9月	2	5	14	32	27	80
平成24年10月	2	5	14	30	29	80
平成24年11月	2	5	13	30	30	80
平成24年12月	2	5	13	29	31	80
平成25年1月	2	6	12	29	33	82
平成25年2月	2	6	12	29	31	80
平成25年3月	2	5	12	28	33	80
合計	24	58	163	365	354	964
	2.5%	6.0%	16.9%	37.9%	36.7%	100%

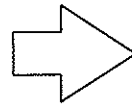
延日数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成24年4月	60	120	410	968	788	2,346
平成24年5月	62	124	432	984	861	2,463
平成24年6月	60	120	420	936	856	2,392
平成24年7月	62	124	496	930	828	2,440
平成24年8月	62	155	465	930	854	2,466
平成24年9月	60	150	420	946	804	2,380
平成24年10月	62	155	434	833	896	2,380
平成24年11月	60	150	390	872	874	2,346
平成24年12月	62	155	403	899	930	2,449
平成25年1月	62	186	372	824	969	2,413
平成25年2月	56	168	336	768	868	2,196
平成25年3月	62	155	372	843	1,012	2,444
合計	730	1,762	4,950	10,733	10,540	28,715

(平成24年度入所延日数目標: 28,800日)

利用者様状況

○利用者性別、年齢別状況

	平成 24 年 4 月 1 日現在		
～64 歳	男 1	女 0	計 1
65～69 歳	男 1	女 3	計 4
70～79 歳	男 7	女 12	計 19
80～89 歳	男 7	女 26	計 33
90～	男 2	女 21	計 23
	18	62	80

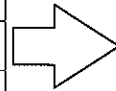


	平成 25 年 3 月 1 日現在		
男 1	女 0	計 1	
男 0	女 2	計 2	
男 6	女 10	計 16	
男 9	女 24	計 33	
男 2	女 24	計 26	
18	60	78	

平均年齢 男性 79.7 歳 (+1.8 歳)
 女性 85.8 歳 (+0.8 歳)
 全体 84.5 歳 (+0.9 歳)

平均年齢 男性 81.5 歳
 女性 86.6 歳
 全体 85.4 歳

	平成 24 年 4 月 1 日現在			
要介護 1	男 0	女 2	計 2	2.5%
要介護 2	男 0	女 4	計 4	5.0%
要介護 3	男 3	女 11	計 14	17.5%
要介護 4	男 7	女 26	計 33	41.3%
要介護 5	男 8	女 19	計 27	33.7%
	18	62	80	



	平成 25 年 3 月 1 日現在			
男 0	女 2	計 2	2.6%	
男 0	女 5	計 5	6.4%	
男 4	女 8	計 12	15.4%	
男 4	女 24	計 28	35.9%	
男 10	女 21	計 31	39.7%	
18	60	78		

○入退所状況 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

月別退所者

4 月	2 名
5 月	1 名
6 月	2 名
7 月	1 名
8 月	1 名
9 月	0 名
10 月	3 名
11 月	0 名
12 月	0 名
1 月	3 名
2 月	2 名
3 月	0 名
合計	15 名

月別入所者

1 名
1 名
2 名
1 名
1 名
1 名
0 名
2 名
0 名
2 名
1 名
2 名
14 名

(退所要因)

死亡（施設内）	12 名
入院	3 名

(入所前場所)

ショート特例枠	1 名
病院	5 名
老健	2 名
特定施設（有料老人ホーム等）	2 名
グループホーム	0 名
家庭	4 名

入院日数

平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

延入院日数 269 日

〔平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日〕
延入院日数 531 日

H24年度 特別養護老人ホーム和光苑 研修報告

<施設内研修>

内容	日程	参加人数
介護職員による医療行為「胃ろうー喀痰吸引等」	H24.4・5 月 9 回	延 86 名
事故防止対策について	H24.5.23	20名
施設ケア研究発表会 自立排泄ケアを目指して	H24.6.27	27名
口腔ケアについて	H24.7.25	25名
感染症対策について	H24.8.29	17名
褥瘡対策について	H24.9.26	17名
高齢者虐待・身体拘束廃止	H24.10.31	22名
アセスメント研修①	H24.10.24,26, 11.7,9	延 39 名
施設ケア事例発表会 困難事例対策について	H24.11.28	19名
接遇マナー向上研修①	H24.12.19	23名
伝達講習レビー小体型認知症	H25.1.14	19名
看取りケアについて	H25.1.30	23名
事故防止対策について	H25.2.27	
接遇マナー向上研修②	H25.3.19	26名
移乗等の動作介助法について	H25.3.27	21名

<外部研修>

内容	日程	参加人数
改正介護保険法研修(愛媛県社会福祉協議会)	H24.4.16	1
介護保険研修会(愛媛県歯科医師会)	H24.5.27	歯衛1
絹島荘施設見学	H24.6.4	
慢性創傷管理の最前線 (新社会システム総合研究所)	H24.6.30	看1
介護相談担当者研修会(愛媛県社会福祉協議会)	H24.7.5	生相1
持ち上げない介護(愛媛県社会福祉協議会)	H24.7.14	介1
「スーパービジョン」(愛媛県社会福祉協議会)	H24.7.26	2
看護職のためのユニットケア研修 (日本ユニットケア推進センター)	H24.8.23,24	看1
全国労働衛生週間実施要項説明会 職場のメンタルヘルス対策(松山労働基準監督署)	H24.9.11	生相1
認知症実践者研修①(愛媛県社会福祉協議会)	H24.10.23-26	介1
能力啓発セミナー／職員のカウンセリング等 (介護労働安定センター)	H24.11.13	介2
レビー小体型認知症(NPO法人 愛と心えひめ)	H24.11.17	看1、介2
認知症実践者研修②(愛媛県社会福祉協議会)	H24.12.23,24	介1
結核対策講演会(市保健所保健予防課)	H25.2.17	1
二つの原因を除けば床ずれは予防できる (NPO法人 愛と心えひめ)	H25.2.23	看1、介1
中・四国ブロックユニットケアフォローアップ研修	H25.2.26	生相1、介3
中予地区別排泄ケア勉強会 (えひめ排泄ケア研究会)	H25.3.3	介4
介護福祉士実習指導者講習会	H25.3.8-22(4 日間)	介1
事業支援セミナー／介護事業所における実践的事 故対応 (介護労働安定センター)	H25.3.13	生相1
施設見学・実習	H25.3.23	介1

H24特別養護老人ホーム和光苑会議報告

全体会議	回数等	
各部署会議	2F	2回
	3F	6回
	新館	5回
リーダー会議	9回	
事例検討会	16名分	
法人研修(感染症)	5回	
法人研修(リスクマネジメント)	1回	
各専門委員会会議	回数等	
事故防止対策	3回	
感染症防止対策	4回	
褥瘡対策	4回	
苦情・相談対策	4回	
食事・口腔ケア	11回	
排泄・入浴ケア	7回	
看取り対策	3回	
認知症ケア	1回	